

「らなむじしん」の巻頭語

	*「N」がナレーション、「☆」はナロップです。 注・「見島」の読み方は「み」の方「アクセント」です。
	アバン
0015	N日本海から昇る黄金色の朝日。
0026	N時に荒々しく、漁師たちを悩ませる海も 今日は本当に穏やか。
0035	N小さな灯台を挟んで 昇る朝日と沈む夕日を見ることが出来る。 ここではそんな特別な経験も……。
0050	N太陽の恵みを受ける この場所の名は……見島
0100	Nのくんびりと 草をはんでいるのは この島にしかないという「幻の牛」です。
0109	N現存する 最古の純粋和牛だという、見島ウシ。
0121	N豊かな山々に囲まれた山口市の盆地では 新種の野菜が誕生しています。
0132	N子どもたちも、この野菜がみんな大好き。
0139	☆(ON)いただきますー
0148	N島の人々を守ってくれぬとして 先祖代々作られてきたのは大廟。

0211	☆(ON) 元気に 強くなるんだ
0216	N強い海風を浴びて舞い上がる大風のようにたくましく、 そして小さな命を育むように穏やかに暮らす 山口県の1年です。
0226	☆(タイトル) 『ふるさとに生まれる ～小さな命を紡ぐ 豊穡の長州～』
0236	N山口県北部に位置する萩市。
0248	N城下の風情が、いまなお大切に残されています。
0254	Nかつてこの簡素な小屋で学んだ若者たちが巣立ち、 日本の行く末を担う志士となりました。
0306	N激動の幕末を駆け抜けた 人々の熱き想いは この地に脈々と受け継がれていると言います。